

食育事業取組報告書(紫雲寺小学校)

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| 食育活動区分   | (該当するものを口で囲む)<br>育てる・作る・食べる・返す   | 実施年月日  | 令和5年5月12日～3月6日  |
| 教科名  | 総合的な学習の時間  | 指導者  | 第5学年担任  |
| 単元名  | 発見！お米の可能性  |  |   |
| ねらい  | 米作りに関わる活動を通して、食糧を生産する苦労・工夫・喜びを実感するとともに、米文化の多様性に気付いたり、米作りと自分たちとを結びつけたりしながら、生活を見直していこうとする意欲を高める。   |  |   |
| 児童・生徒の活動   |  | 支援・指導上の留意点   | 資料  |
| 1 活動の見通しをもつ(4. 5月)<br>2 紫米を育てる(5～10月)<br>3 米作りに挑戦しよう「田植え」(5月)<br>4 米作りに挑戦しよう「調べ学習」(5・6月)<br>5 米作りに挑戦しよう「観察」(7月)<br>6 米作りに挑戦しよう「販売」(11月)<br>7 米作りに挑戦しよう「調理実習」(3月) |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の日常生活に身近な日本の農業や食料生産の課題を提示し、学習の必要性を理解させ、各自の興味・関心によるめあてを持たせた。</li> <li>紫米栽培を行っている農家(保護者)から、紫米栽培の苦労や工夫、栽培方法を学び、バケツ栽培を始めた。</li> <li>JA職員・地域の稲作農家の方々から協力していただき、借用している田で田植えを実施した。</li> <li>社会科学習と関連づけ、米作りに関する調べ学習を行った。</li> <li>学校の敷地内で栽培している紫米の水やりの際など、米の成長の様子を観察した。</li> <li>作品展当日、来校した保護者を対象に米販売を行い、販売までの準備作業や販売方法の工夫等を体験させた。</li> <li>家庭科の調理実習として、鍋で白米を炊き、会食することで改めて米のおいしさを実感した。</li> </ul> |    |
| 成果と課題  | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田植えの体験や米作りについての学習を通し、米作りに関わる人々の苦労や工夫を実感し、また、日本の食料生産についての興味・関心を高めることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる様々な制限及び夏の猛暑等の影響により、児童の学習活動に制限があった。</li> <li>稲刈り実施予定日はあいにくの雨天で実施不可。その後も学校行事等の関係で実施できなかった。田植えや稲刈りは天候に影響されるので、年度当初の見通しを持った作業計画の作成が必要である。</li> </ul> |  |   |
| 家庭・地域との連携  | <ul style="list-style-type: none"> <li>JA北越後の職員、地域の稲作農家・紫米農家の方々及び保護者から協力を得ることができた。農業に携わるの方々から、お話を伺う機会を得て、地域の農業と自分との関わりを感じることができた。</li> <li>初めて田植えをした児童も多く、米作りの大変さの一端ではあるが、体験しないと実感できないことを作業を通し、得ることができた。</li> <li>米販売当日は、他学年の保護者の方々からもたくさん購入していただき、5年生のお米作りの学習を広めることができた。</li> </ul>   |  |   |